

みーつけた!!

「えんがわ」生活支援体制整備活動サークル

境町では2017年に「生活支援体制整備事業」が始まりました。「えんがわ」とはその事業を実行するサークルに付けられた名前です。昔はこの家にもえんがわがあつて、そこが交流の場となっていました。私たちは、高齢化が進むなかで地域に住む人たちが交流を持ち、相互に助け合い、支え合える環境をつくることをテーマに活動しております。

「えんがわ」生活支援体制整備活動サークル

「買い物支援」自分で自転車や車を運転することが難しくなった高齢者を車に乗せて、町内のスーパーや衣料品店、道の駅に行き、自由に買い物を楽しんでもらっております。(コロナ禍以降は休止)

「お弁当のお届け」町内にあるデイサービス事業所から、高齢者の方々に時には美味しい食事を楽しんでいただくために、利用しやすい価格で提供したいとの提案がありました。この趣旨に賛同して毎月1回夕方、希望者の自宅まで届けています。

「ケアマフ作り」始めたばかりの活動です。写真①の筒状の編み物がケアマフです。写真②のように使うことで気持ちや穏やかになるといわれております。これを認知症の方に利用していただくこと、介護施設などに提供する活動です。そのためには毛糸の提供者と編んでくれる人が必要です。皆さまのご支援をお待ちしております。

一緒にやってみませんか?

「えんがわ」の活動は、これからの高齢社会に必要とされる生活環境づくりです。何が必要かを考え、一緒に行動してくれる人たちを見つけて実行することです。

活動に、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ・受付窓口
境町社会福祉協議会 (0280-87-2525)



「嬉しい橋のつくり」

わーくすクラブ 伊東 仁子

今年も楽しみなプランターの花植えが始まりました。どんな花が良いか、決めるのも植えるのも大変ですが、楽しみでもあります。当番で廻ってくる水撒きも、今年も美しい花が咲いてくれますようにと花に話しかけながら、水を撒いています。道の駅を訪れた、見知らぬ人から「きれいですね」と褒められると、どんな小さな事でも努力は報われるものだと思います。今年も暑さに負けず老体に打ち打って頑張ろうと思っております。



花植え作業中



作業を終えてひと休み

「聴覚障害者との交流を楽しむ」

手話サークル わたぼうし 須藤 とよ子

手話を学びながら、聴覚障害者との交流を楽しんでいます。災害が頻発している昨今、防災意識を持つために、避難所などでも使えるスリッパや靴、帽子などを新聞紙で作りました。



於 中央公民館
第一・第三(水) 午後七時～九時



みんなでアイラブユーの手話



親子でスリッパ作り



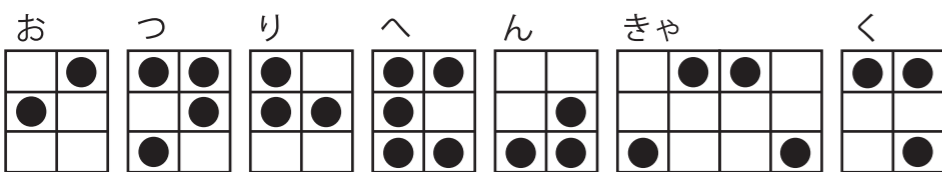
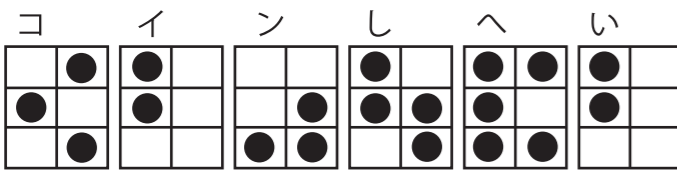
なかなかかっこいい



手話で盛り上がっています。

点字サークル

今回は身近にある自動販売機についている点字を紹介します。確認してみてください。



点字とは

点字とは、視覚障害者が文字を読んだり、書いたりするために使う文字です。

平成20年ごろ社協で受講生募集していた講座が、会社の休日に行ける為、応募しました。それが、点字を始めきっかけです。以降、応募しなくても受講できる事になり、続けていた結果、講座がボランティアに変わり、10年以上過ぎていました。

1冊を点訳するのに、数カ月掛かる為、達成感があります。今、第4土曜日に、5人で、絵本の点訳をしています。興味のある方は、見学に来て下さい。お待ちしております。

ボランティア募集!!

ボランティア連絡協議会(7サークル)では、随時ボランティアを募集しています。

【サークル紹介】

- ◇朗読ボランティアすばる (園児・児童又は、福祉施設等での読み聞かせ)
- ◇ひまわり会 (お弁当を調理して、配食サービス利用者へ配達)
- ◇わーくすクラブ (環境美化活動や福祉及び子育て等に関するボランティア)
- ◇整理ボランティア (ベルマークや使用済み切手の整理)
- ◇点字ボランティア (小学校での点字の指導及び点字絵本の作成)
- ◇境町シルバーリハビリ体操指導士会 (介護予防体操の指導や普及活動)
- ◇手話サークルわたぼうし (小学校等での手話の指導及び聴覚に障がいのある方との交流)

※ボランティアに興味のある方は、お問い合わせください。

令和6年度境町ボランティアセンター 研修事業について

○災害ボランティアセンター設置運営訓練

- ・目的：発災時に活躍する支援の担い手を育てる
- ・内容：災害ボランティアセンター設置運営における、基礎的な知識の習得及び実習
- ・対象：災害時の支援活動に関心のある方
- ・参加費：無料

○初めてのボランティア体験講座

- ・目的：講座を通して、ボランティアに興味関心を深めてもらい活動につなげる
- ・内容：活動をするにあたっての注意点を学び、活動を経験する

- ①福祉ボランティア体験 (車いすやアイマスク体験等について実際の活動を学ぶ)
- ②配食ボランティア体験 (調理を通して、ボランティアの楽しさを学ぶ)

対象：町内在住在勤の方 参加費：無料

※日程につきましては、町お知らせ版に掲載します。